

家計簿からみたファミリーライフ



家計簿で
豊かな暮らしの
基礎づくり

調査員が
伺いましたら、
ご回答をお願い
いたします。

個人情報
は保護
されます。

パソコン、
タブレット、
スマートフォン
からご回答いただけます。



調査員は
調査員証を
携帯しています。

家計調査は、暮らしの実態を
家計収支の面から明らかにし、
我が国の経済・社会政策の
基礎資料となります。



家計調査 検索

<https://www.stat.go.jp/data/kakei/index.html>
印刷用の紙にリサイクルできます。



総務省統計局・都道府県



本冊子をご覧になる皆様へ

家計調査は、世帯の皆様は毎日の家計の収入や支出を家計簿につけていただき、その結果を取りまとめ、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにするための調査です。

この調査は、調査世帯の皆様を始め、多くの国民の皆様の協力によって、1946年7月から今日まで欠かさず続けられ、国の最も基本的かつ重要な統計調査の一つとなっています。

また、調査結果は、景気動向の判断指標として不可欠なものとなっていることはもとより、国や地方公共団体の各種施策立案や大学・民間団体での分析などに幅広く利用されています。特に、食料品などを中心とした物価高騰が続く状況下において、家計の消費支出の実態や社会経済の実相を迅速かつ的確に把握することがこれまで以上に重要となっており、皆様の協力により得られた結果は、なくてはならない情報源となっています。

この冊子は、最近の家計調査の結果から、皆様の暮らしに身近な話題を選び、グラフを使って解説したものです。

家計調査への理解を深める一助となれば幸いです。

2023年6月

総務省統計局長
井上 卓

目 次

第1章 家計調査のしくみ	2
第2章 家計調査結果の利用例	
1 政府における利用	3
2 民間企業・学術研究者などにおける利用	4
3 地域の活性化の取組への利用	4
4 各種メディアでの利用	5
第3章 家計からわかる暮らしの特徴	
1 食生活から垣間見える土地柄	6
2 最近の特徴的な支出	8
3 あの日には欠かせない この日には欲しい この品目	11
4 変わる季節性	12
第4章 年齢階級別に見た暮らしの特徴	
◇二人以上の世帯	13
1 30歳未満で多い住居費	13
2 30歳代で多い子供用衣料など	13
3 40歳代及び50歳代で多い教育関係費	14
4 60歳代で多いスポーツ施設使用料	15
5 70歳以上で多いサプリメントなどの支出	15
◇単身世帯	16
第5章 家計資産	
1 貯蓄額別の世帯分布	17
2 貯蓄の種類別の状況	18
3 負債の種類別の状況	19

この冊子のグラフなどの数値は特に断りのない限り、以下のとおり記載しております。

- ・ グラフなどの数値は、2022年の全国の結果です。
- ・ 「支出金額」、「貯蓄現在高」、「負債現在高」は、1世帯当たりの平均値です。

第1章 家計調査のしくみ

家計調査は、全国168市町村、約9,000世帯を対象に、国が都道府県を通じて行っている基幹統計調査（国が行う最も重要な統計調査の一つ）です。

〔調査方法〕

都道府県知事が任命した統計調査員が、調査世帯を訪問し、「家計簿」の記入をお願いします。

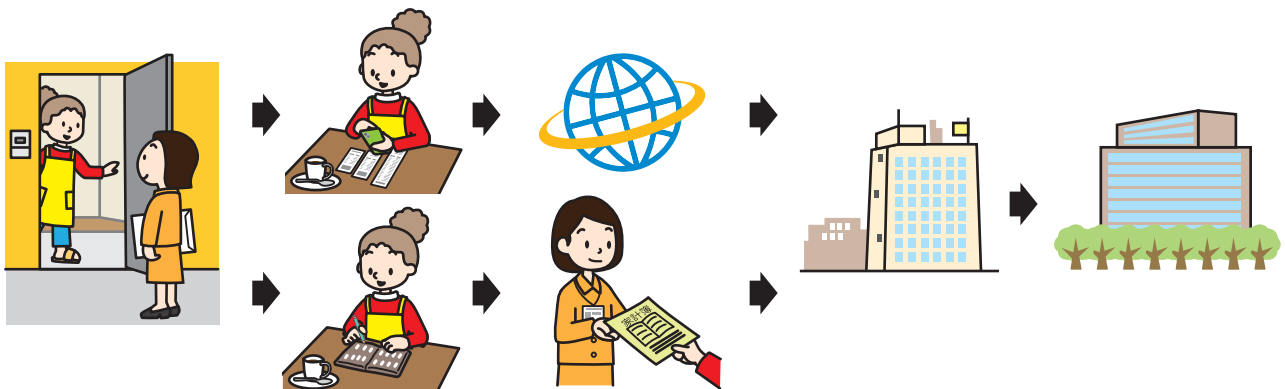
調査世帯は、統計的な方法で全国から無作為に抽出され、毎日の収入・支出について、「家計簿」に記入又はオンライン回答システムから入力します。

このほか、世帯と世帯員及び住居に関する事項については、調査員が聞き取りにより、その内容を「世帯票」に入力します。また、過去1年間の年間収入については「年間収入調査票」に、貯蓄及び借入金などに関する事項については「貯蓄等調査票」に各世帯が記入又はオンライン回答システムに入力します。

〔結果の集計及び公表〕

記入済みの家計簿などの調査票、オンライン回答システムに入力されたデータは、総務省統計局に送られ、データのチェックを経た後、集計されます。

調査の結果については、毎月、インターネットなどを通じて公表し、テレビやラジオ、新聞などによって広く報道されます。



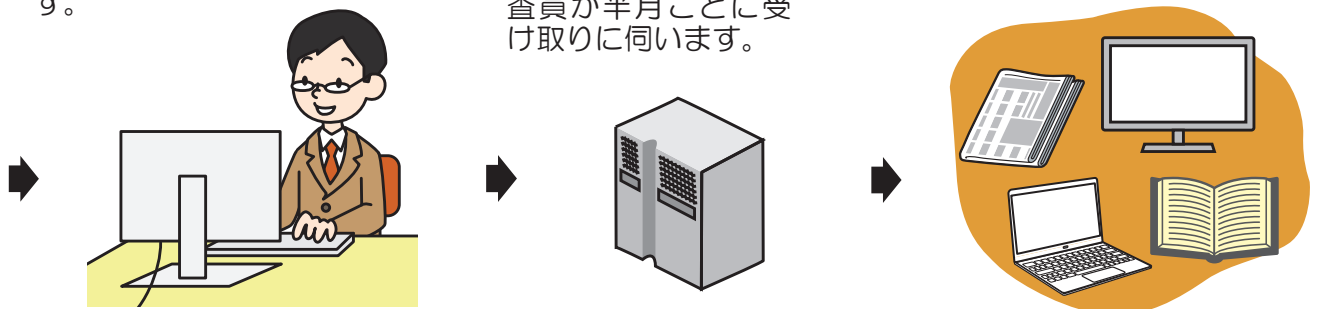
知事が任命した調査員が調査世帯に家計簿の回答のお願いに伺います。

家計簿は、毎日入力又は記入をお願いします。

オンライン調査の場合、期限内であれば都合の良い時間に提出できます。
紙の家計簿の場合、調査員が半月ごとに受け取りに伺います。

調査員が審査した家計簿データを、都道府県が点検等を行います。

家計簿のデータは、総務省統計局に送られます。



総務省統計局に送られた家計簿のデータは、厳重な管理のもと、内容検査が行われます。

コンピュータによって迅速に集計され、様々な統計表ができあがります。

調査結果は、インターネット・テレビ・ラジオ・新聞などを通じて幅広く報道されるほか、報告書として印刷されます。

第2章 家計調査結果の利用例

家計調査の結果は、国民生活の動向を把握する最も基本的な統計として、各種行政施策の立案に幅広く利用されているほか、地方公共団体の広報活動や民間企業などにも利用されています。ここでは、その代表例を紹介します。

1 政府における利用

(1) 景気判断における利用

➤ 月例経済報告

月例経済報告は、政府が毎月発表している景気の公式見解を示すもので、国内の景気動向の判断のため、個人消費や企業活動の状況などが分析されています。この**月例経済報告の作成に当たっては、家計調査の結果**も用いられています。

月例経済報告（2023年4月）抜粋

総論（我が国経済の基調判断）

景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

- ・個人消費は、緩やかに持ち直している。（後略）

各論

1. 消費・投資等の需要動向

（前略）**需要側の統計をみると、「家計調査」（2月）では、実質消費支出は前月比 2.4%減となった。**販売側の統計をみると、「商業動態統計」（2月）では、小売業販売額は前月比 2.1%増となった。（後略）

【出典】内閣府ホームページ「月例経済報告」 <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

➤ 国内総生産（GDP）

家計調査の結果は、我が国の経済力を表す指標である国内総生産（GDP）の動きを知るため（四半期別GDP速報集計（QE）の算出）に用いられています。

我が国GDPの大半は個人消費が占めています。経済全体の動きを見る上で、家計調査の結果は非常に重要なものとなっています。

統計豆知識 ～ 国内総生産（GDP）～

国内総生産（GDP）とは、ある一定の期間内における国内の経済活動によって新しく産み出された財（商品）やサービスの金額（付加価値）の合計です。

産み出された付加価値（GDP）の大半は、家計が消費することになります。家計調査の結果は、GDPの「家計最終消費支出」の算出に用いられています。

(2) 税制や社会保障政策の立案の基礎資料

- 収入階級別の消費税の税負担の状況を試算するための基礎資料
- 基礎年金額、生活保護基準などの検討の基礎資料
- 勤労者の賃金を決めるための標準生計費の算定

(3) 各種行政施策の企画・立案の基礎資料

- 消費者物価指数（CPI）のウエイトの作成
- 経済政策や社会政策の立案・評価分析
（経済財政白書、労働経済白書、通商白書など各省庁の資料）



2 民間企業・学術研究者などにおける利用

家計調査の結果は、支出する品目の構成などを把握できることから、次のように様々な用途に利用されています。

- 民間企業の経営戦略（商品の生産計画や開発）の策定
- 家計収支や消費者行動などの経済分析



3 地域の活性化の取組への利用

家計調査の結果は、県庁所在市別などの消費状況の把握も可能となっています。地域によっては、観光についての広報や町おこしなどに、これらの結果を利用しています。

蟹取県ウェルカニキャンペーン

鳥取市の1世帯当たりの「かに」の支出金額は2020～2022年平均で全国1位となっています。

そんな鳥取県は、蟹（かに）の水揚量、消費量が日本一で、蟹による観光誘客やブランド化を目的に、2014年から「蟹取県ウェルカニキャンペーン」を行っています。

【出典】鳥取県 HP <https://www.kanitoriken.jp/>



統計豆知識 ～ 消費者物価指数（CPI）～

消費者物価指数は、全国の世帯が日常生活で購入する商品（財・サービス）の価格の動きを総合して見るための指標です。物価の変化を客観的に表すひとつの指標として多方面で利用されています。

目指せ！！餃子のまち！宮崎市

宮崎市の1世帯当たりの「ぎょうざ」の支出金額は2020～2022年平均で全国1位となっています。

そんな宮崎市では、毎月3日を「餃子の日」として、黄色いのぼりのある餃子専門店では特典が受けられるほか、2022年には、「宮崎ぎょうざEXPO2022」という約1.6万人規模のグルメイベントが開催されました。

「宮崎市ぎょうざ協議会」のホームページでは宮崎の餃子の特徴や家計調査における餃子に関する結果が紹介されています。



【出典】宮崎市ぎょうざ協議会HP <https://miyazakigyozu.com/>

*出典のURLは変更になる可能性があります。

*ここでいう「全国」とは、都道府県庁所在市及び政令指定都市をいいます。

4 各種メディアでの利用

毎月の家計調査の結果は、経済動向、景気動向を見る主要指標であることから、全国平均の消費支出額などが、テレビのニュースや新聞の中で取り上げられています。

また、品目別の購入数量や支出金額などは、各種バラエティ番組の中で幅広く利用され、家計調査を特集した番組なども放送されています。

○「秘密のケンミンSHOW極」（日本テレビ）

漬物の年間支出金額ランキング、パンの支出金額、冬季の電気代ランキング
(2023年2月16日放送)

○「月曜から夜ふかし」（日本テレビ）

那覇市の「ティッシュペーパー」の支出金額 (2023年4月17日放送)

○「アメトーーク!」（テレビ朝日）

都道府県庁所在市別のコロケの平均支出金額 (2023年1月19日放送)

○ その他

「ワールドビジネスサテライト」（テレビ東京）

「くりいむクイズ ミラクル9」（テレビ朝日）

「東大王」（TBSテレビ）

「世界一受けたい授業」（日本テレビ）

など

注：地域によって放送局や放送日などが異なります。

第3章 家計からわかる暮らしの特徴

家計支出の内容は、住んでいる地域によって違ったり、暮らしぶりの変化に伴い変わります。ここでは、家計からわかる暮らしの特徴を取り上げてみます。

1 食生活から垣間見える土地柄

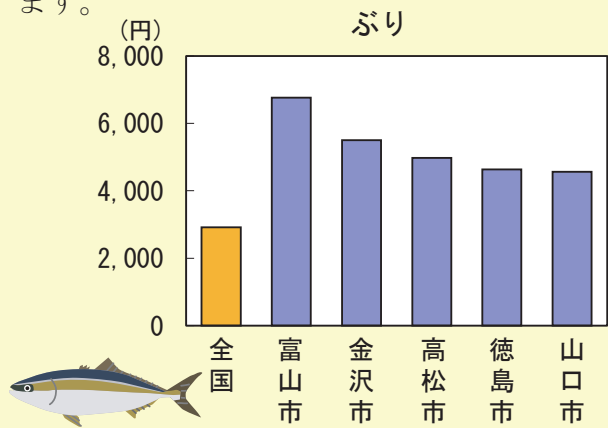
消費者の食生活には土地柄によって特徴が表れます。

都道府県庁所在市及び政令指定都市別の結果（二人以上の世帯）から、代表的な品目を取り上げてみました。

「ぶり」の支出金額全国一の富山市

富山市の2020～2022年平均のぶりの1世帯当たりの年間支出金額は6,763円で、全国平均(2,919円)の約2.3倍となっています。

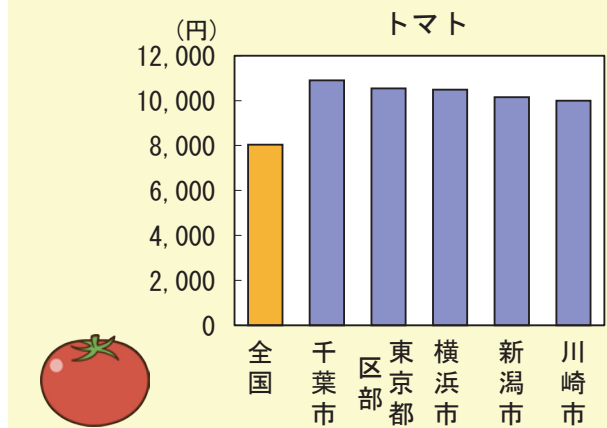
天然のいけすといわれる富山湾で冬に捕れる寒ぶりは「富山県のさかな」に選定されており、県を代表する魚になっています。



「トマト」の支出金額全国一の千葉市

千葉市の2020～2022年平均のトマトの1世帯当たりの年間支出金額は10,905円で、全国平均(8,041円)の約1.4倍となっています。

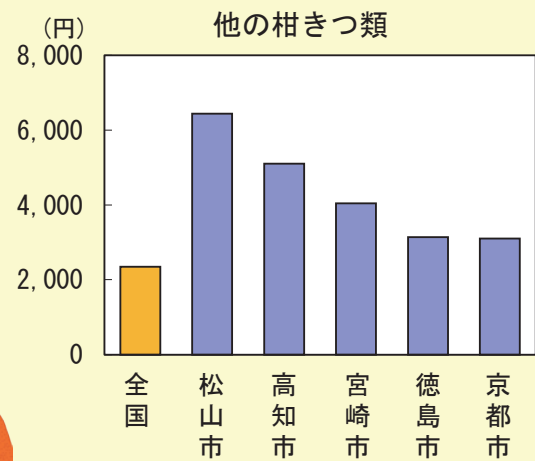
千葉県は農業が盛んであり、特に落花生が有名ですが、トマトの生産量も全国で上位に入っています。



「他の柑きつ類」の支出金額全国一の松山市

松山市は、伊予かん、ぼんかん、不知火などの他の柑きつ類の2020～2022年平均の1世帯当たりの年間支出金額は6,439円で、全国平均(2,347円)の約2.7倍となっています。

愛媛県は一年間を通して温暖で晴れの日が多く、畑の土の水はけが良いことなど、柑きつ類を作るための良い環境に恵まれています。



下の表は、2020～2022年平均の品目別「年間支出金額」又は「年間購入数量」が、全国で上位（太字は1位）である主な品目（食料）について、それぞれの地域の特徴を踏まえ、まとめたものです。

都道府県 庁所在市	品目	都道府県 庁所在市	品目
札幌市	他の生鮮肉(羊肉など)、さけ、ビール、ウイスキー	神戸市	食パン、マーガリン、キウイフルーツ
青森市	いか、ほたて貝、さけ	奈良市	牛肉、生しいたけ、食用油
盛岡市	中華麺、さんま、わかめ	和歌山市	梅干し、みかん、さば
仙台市	かまぼこ、わかめ、清酒	鳥取市	かに、いわし、かれい、梨
秋田市	生しいたけ、だいこん漬、ほうれんそう	松江市	しじみ、さば、梨
山形市	中華そば(外食)、こんにやく、他の果物(さくらんぼ、洋梨など)	岡山市	ぶどう、桃、ソース
福島市	納豆、桃、卵	広島市	かき(貝)、ソース、バナナ
水戸市	メロン、せんべい、しじみ	山口市	あじ、しめじ、砂糖
宇都宮市	いちご、だいこん、ぎょうざ	徳島市	さつまいも、ハンバーガー、ちくわ
前橋市	ドレッシング、すし(弁当)、乳酸菌飲料	高松市	生うどん・そば、日本そば・うどん(外食)
さいたま市	チューハイ・カクテル、プリン、パスタ	松山市	他の柑きつ類(伊予かんなど)、たい、ちくわ、えび
千葉市	キウイフルーツ、トマト、レタス	高知市	かつお、はくさい漬、飲酒代
東京都区部	チーズ、ワイン、バター	福岡市	たらこ、鶏肉、風味調味料
横浜市	かぼちゃ、しゅうまい、紅茶	佐賀市	たい、ごぼう、れんこん、干しのり
新潟市	塩さけ、さやまめ、天ぷら・フライ	長崎市	あじ、カステラ、かまぼこ
富山市	ぶり、オレンジ、もち	熊本市	合いびき肉、マヨネーズ・マヨネーズ風調味料、鶏肉
金沢市	ケーキ、アイスクリーム・シャーベット、れんこん	大分市	干ししいたけ、焼肉、酢
福井市	油揚げ・がんもどき、コロッケ、カツレツ	宮崎市	ぎょうざ、焼酎、鶏肉
甲府市	ぶどう、あさり、まぐろ	鹿児島市	揚げかまぼこ、酢、焼酎
長野市	小麦粉、えのきたけ、りんご	那覇市	かつお節・削り節、にんじん、ハンバーグ
岐阜市	柿、和食(外食)、喫茶代		
静岡市	まぐろ、しらす干し、じゃがいも、緑茶	政令指定 都市	品目
名古屋市	すいか、和食(外食)、喫茶代	川崎市	おにぎり・その他、ジャム、パスタ
津市	魚介のつくだ煮、あさり	相模原市	レタス、もち、ピーマン
大津市	コーヒー、かぼちゃ、牛肉	浜松市	うなぎのかば焼き、ぎょうざ、緑茶
京都市	他の野菜の漬物(干枚漬など)、バナナ、コーヒー	堺市	はくさい、えび、たこ
大阪市	たこ、はくさい、乳飲料	北九州市	さしみ盛合わせ、いわし、たらこ

2 最近の特徴的な支出

最近の家計消費の動き

2022年の消費支出は実質1.2%の増加となり、2年連続の増加

2022年の二人以上の世帯（平均世帯人員2.91人、世帯主の平均年齢60.1歳）の消費支出は、1世帯当たり1か月平均290,865円で前年に比べ名目4.2%の増加となりました。また、物価変動（3.0%）の影響を除いた実質でも1.2%の増加となりました。新型コロナウイルス感染症の影響がない2019年と比べると、消費支出は、名目0.9%、実質3.5%の減少となりました。

2022年における月別の動き

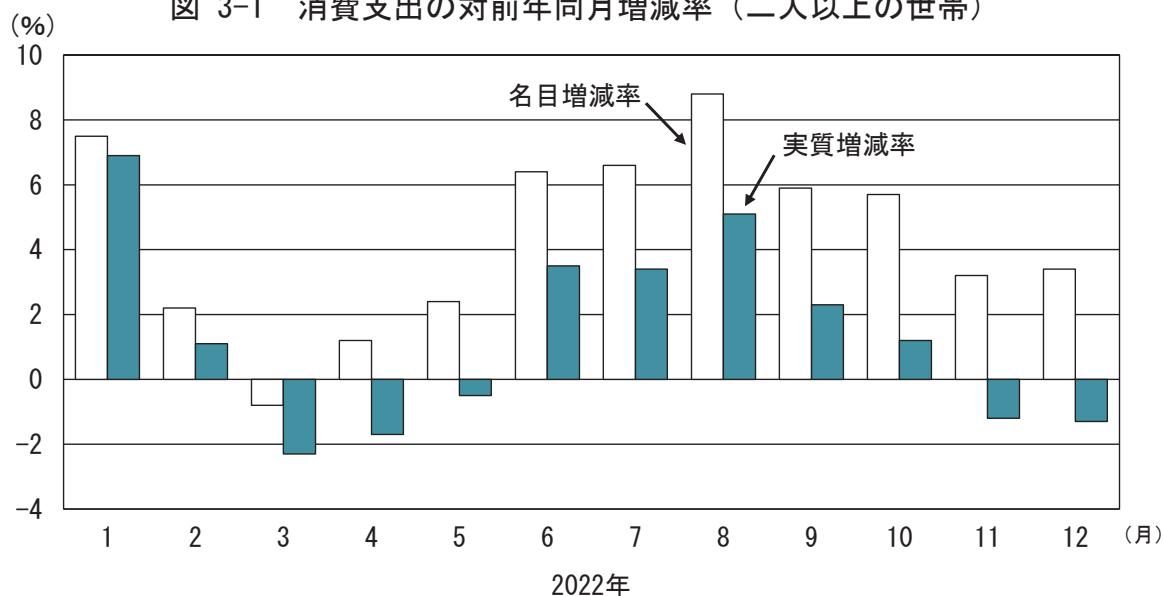
2022年の消費支出を月別にみると、1月及び2月は、前年が低水準だった反動などにより増加となりました。

3月は、内食需要の縮小により、「魚介類」、「野菜・海藻」などが減少したことなどで、実質2.3%の減少となりました。

4月及び5月も、内食需要の縮小は続いたものの、行動制限がなくなったことで外出した人が増加し、ゴールデンウィークの旅行や帰省需要を中心に「教養娯楽サービス」などが増加したことで減少幅が縮小し、それぞれ実質1.7%、実質0.5%の減少となりました。

6、7月及び8月は、「外食」、「交通」、「教養娯楽サービス」などが増加し、それぞれ実質3.5%、実質3.4%、実質5.1%の増加となりました。特に、8月は、前年が緊急事態宣言の発令で低水準だった反動や、お盆の帰省や旅行需要などにより、消費支出の増加幅は前月から拡大しました。

図 3-1 消費支出の対前年同月増減率（二人以上の世帯）



統計豆知識 ～ 名目と実質～

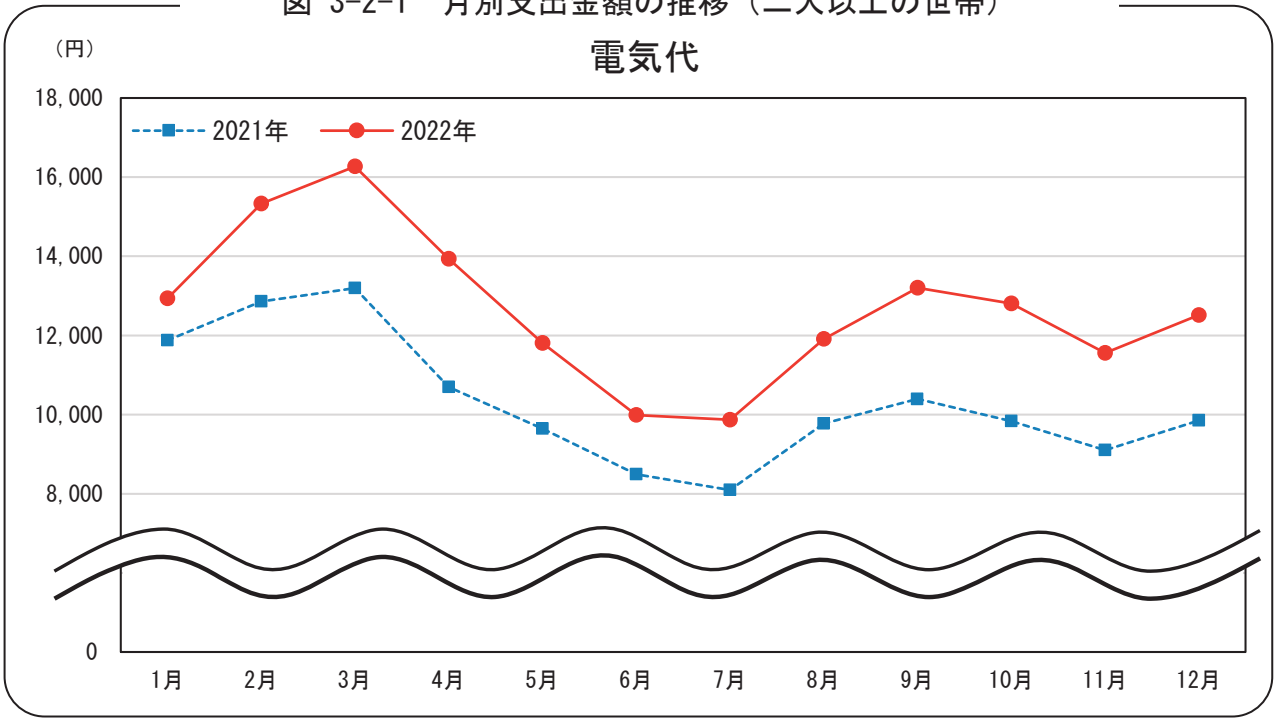
「名目」とは額面どおりの金額で、普段私たちがスーパーなどで目にしている金額そのものです。一方、「実質」とは、物価の変動の影響を取り除いたものです。

支出金額の名目増減率は、支払った金額の動きを示し、実質増減率は、支払った金額（名目）から消費者物価指数の変化分を取り除いた実質的な金額の動きを示します。実質増減率は、数量や品質の変化分に当たります。

2022年における主な品目別の動き

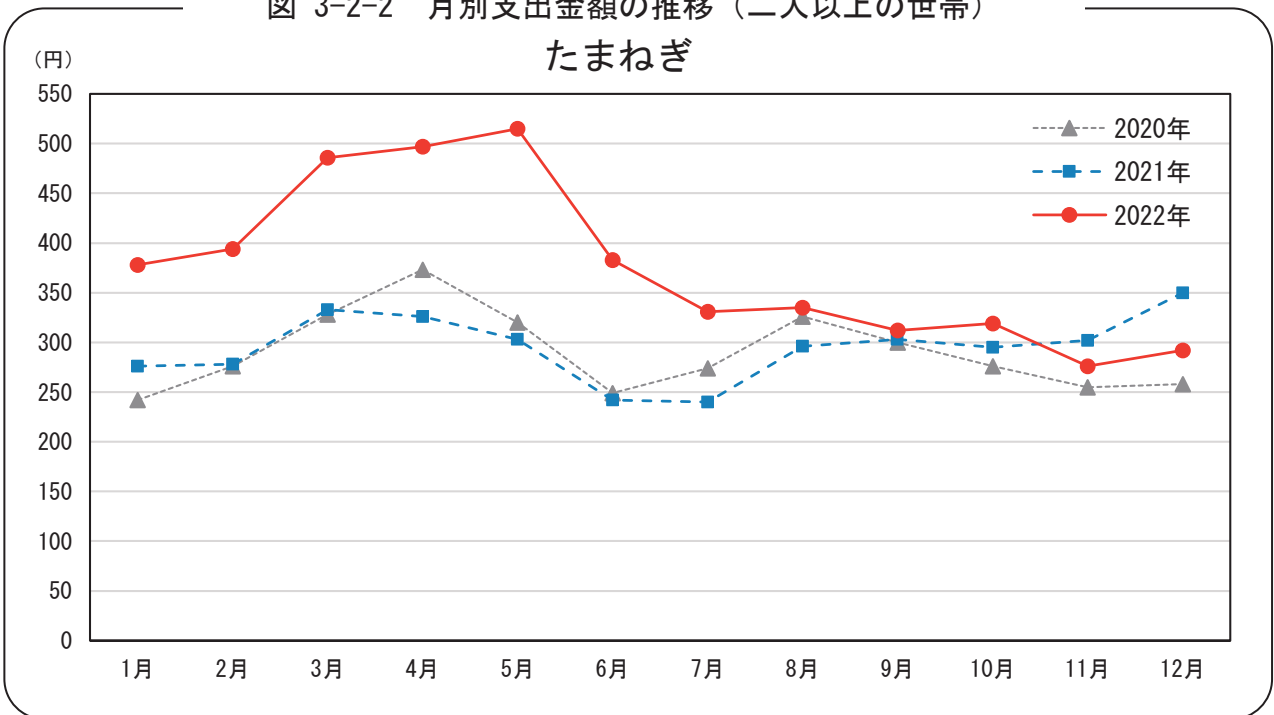
「電気代」の1か月当たりの支出金額を月別にみると、燃料価格の高騰や為替相場における円安を背景とした電気料金値上げなどの影響により、前年同月と比べ、高い水準で推移しました。

図 3-2-1 月別支出金額の推移（二人以上の世帯）



「たまねぎ」についてみると、2021年夏に生産地が干ばつに見舞われたことによる、価格高騰などの影響で、2022年は年初から夏にかけて、前年同月と比べ、高い水準で推移しました。

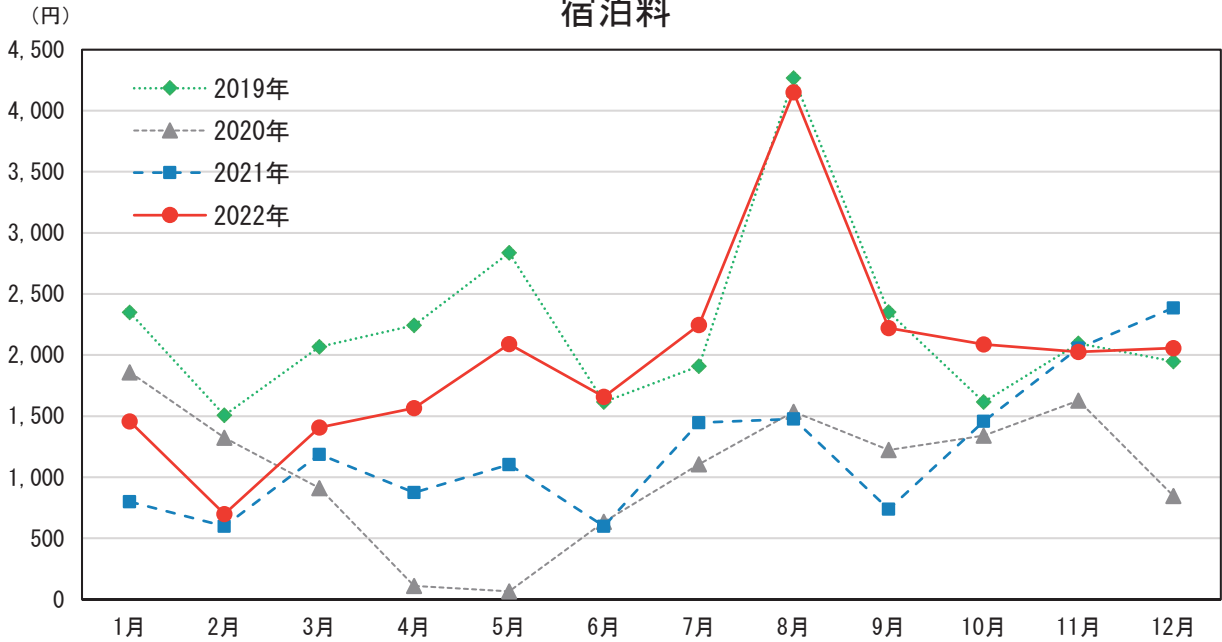
図 3-2-2 月別支出金額の推移（二人以上の世帯）



「宿泊料」についてみると、年初から、前年同月に比べ、高い水準で推移していましたが、まん延防止等重点措置が解除（3月21日）され、行動制限がなくなったことや、政府の観光需要喚起策「全国旅行支援」（10月11日から12月27日宿泊分まで）などによる影響もあり、年後半は、新型コロナウイルス感染症の影響がない2019年と同水準で推移しました。

図 3-2-3 月別支出金額の推移（二人以上の世帯）

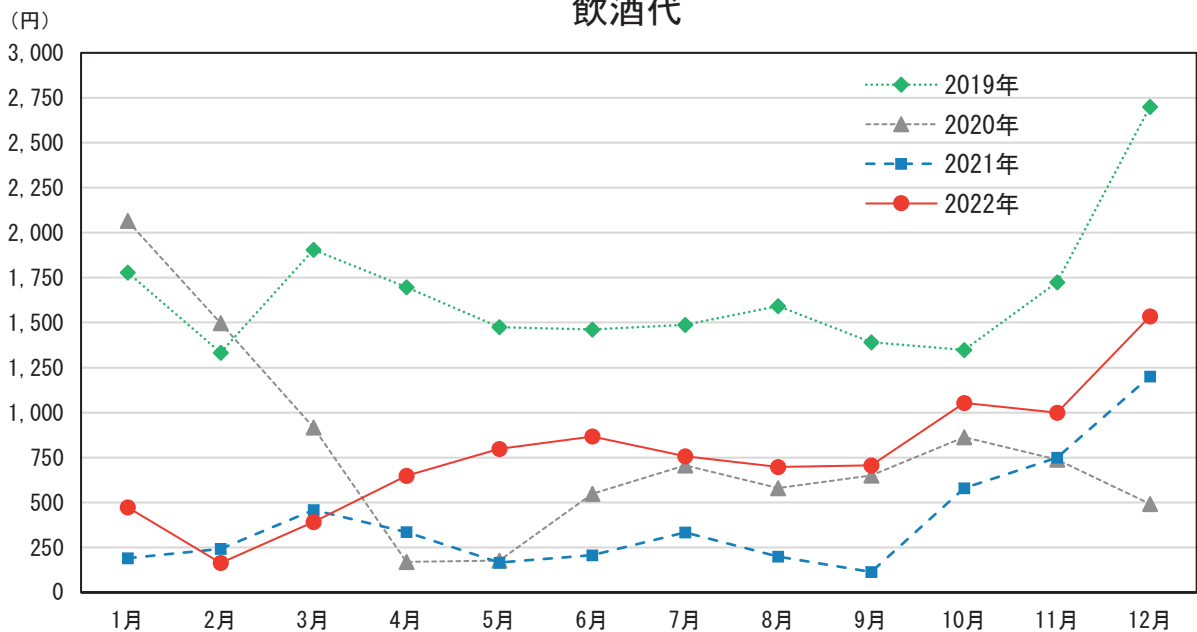
宿泊料



「飲酒代」についてみると、新型コロナウイルス感染症の影響がない2019年の水準までは戻っていないものの、まん延防止等重点措置の解除などの影響により、3月以降、前年同月に比べ、高い水準で推移しました。

図 3-2-4 月別支出金額の推移（二人以上の世帯）

飲酒代



3 あの日には欠かせない この日には欲しい この品目

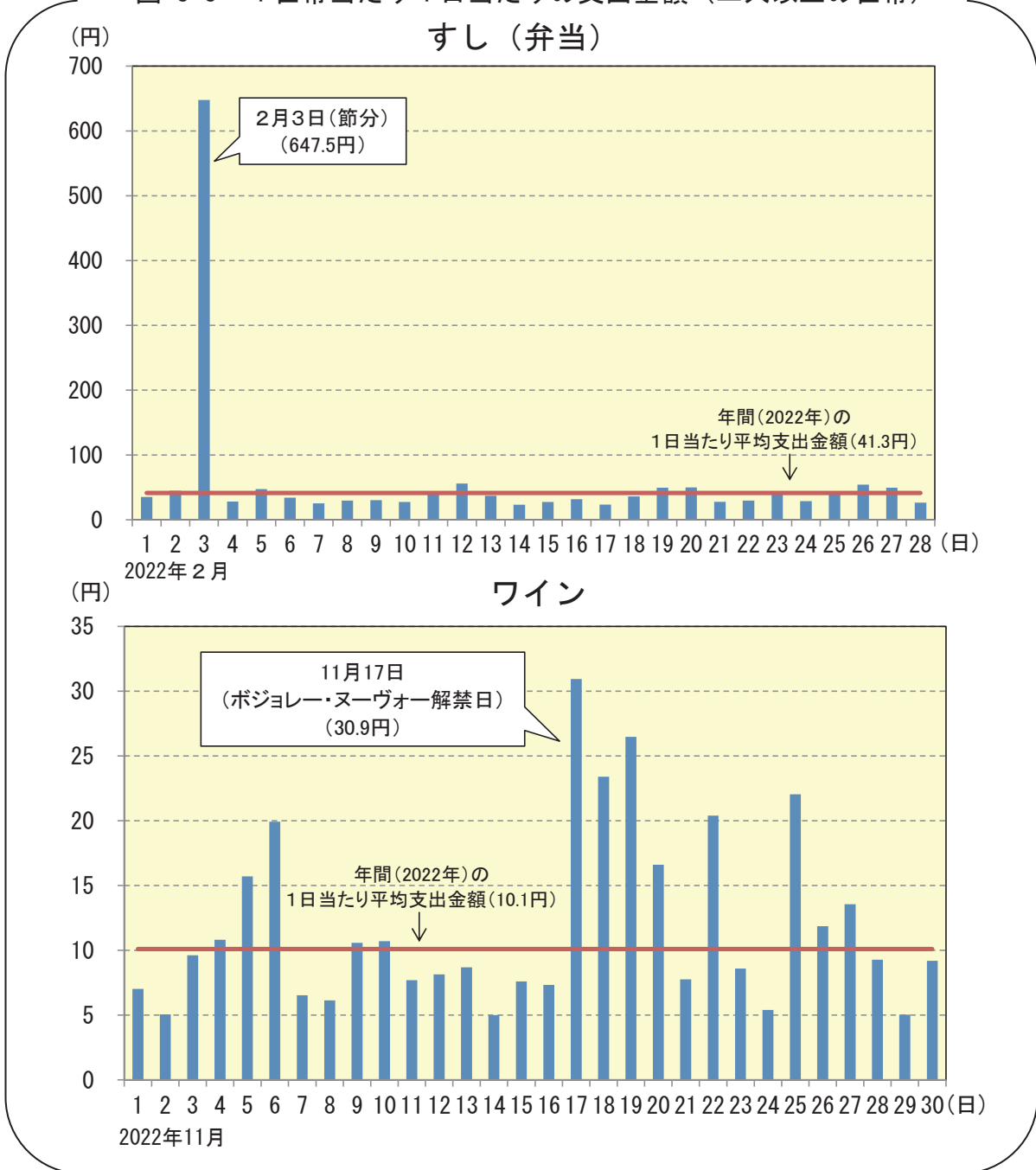
特定の日に購入が集中する「すし（弁当）」と「ワイン」

1年の中でも特定の日で購入が特に多くなる商品があります。

節分の日『恵方巻き』と呼ばれる太巻きを、その年の恵方に向けて食べると、良い1年が過ごせると言われています。家計調査では「すし（弁当）」に『恵方巻き』が含まれており、支出金額は節分（2022年は2月3日）が最も多く、年間を通じた1日当たりの平均支出金額の約15.7倍になっています。

また、ワインの支出金額は、11月の第3木曜日のボジョレー・ヌーヴォー解禁日（2022年は11月17日）に、年間を通じた1日当たりの平均支出金額の約3.1倍になっています。解禁後の支出金額は増えており、お祭り感覚で飲む方も多いようです。

図 3-3 1世帯当たり1日当たりの支出金額（二人以上の世帯）



4 変わる季節性

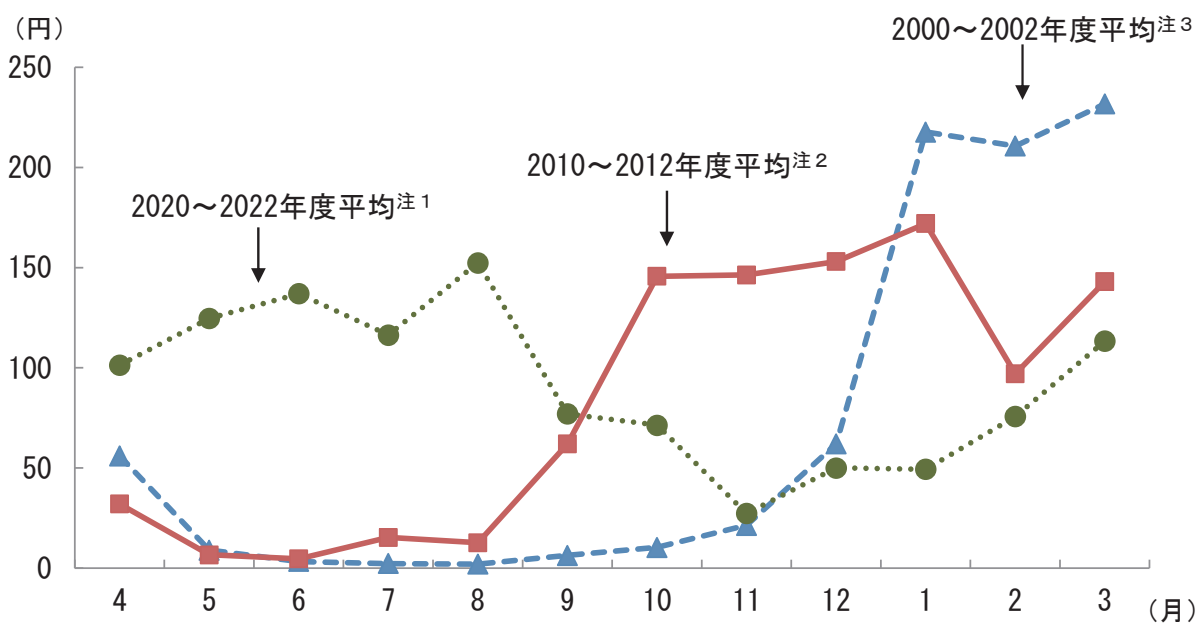
購入時期が早まる通学用かばん

商品の中には、消費者が購入する時期が、昔とは異なってきているものがあります。

通学用かばんの支出金額は、20年前は年末から年明けにかけて多くなっていました。10年前は秋頃から徐々に多くなる傾向がみられました。最近では春から初夏にかけて多くなってきているなど、購入時期が大きく変化しています。

最近では、ランドセルメーカーや小売店が、祖父母が孫のために購入する需要を見込んで、親が子を連れて帰省する夏休みシーズンや4、5月のゴールデンウィークを狙い、春頃から翌年用のランドセルの新商品の販売を開始するようになりました。また、ランドセルの色や素材は多種類から選べるようになり、人気ブランドやデザインによっては、早々に売り切れることも珍しくないため、購入時期が早まる傾向にあるようです。

図 3-4 通学用かばんの月別支出金額（二人以上の世帯）



注1 2020年4月から2023年3月までの月ごとの平均

注2 2010年4月から2013年3月までの月ごとの平均

注3 2000年4月から2003年3月までの月ごとの平均



第4章 年齢階級別に見た暮らしの特徴

家計支出の内容は世帯主の年齢によって異なることがあります。ここでは、世帯主の年齢階級別に暮らしの特徴を見てみましょう。

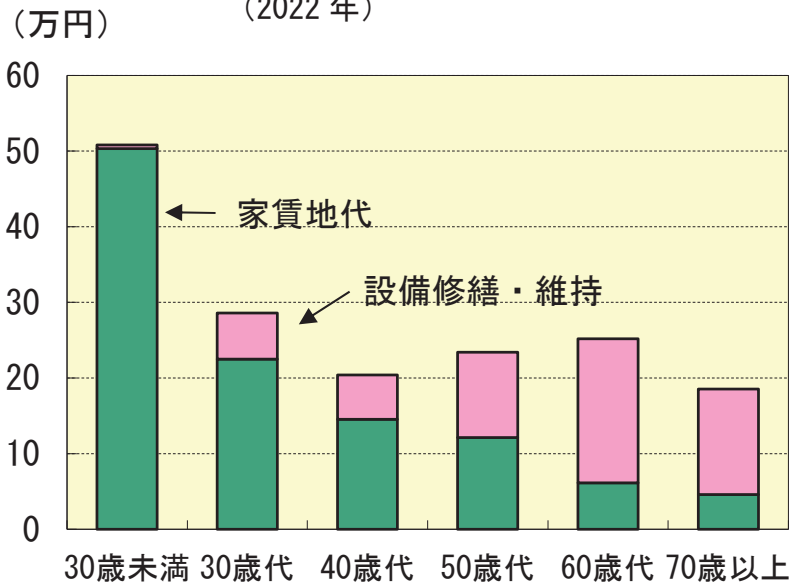
◇二人以上の世帯

1 30歳未満で多い住居費

世帯主の年齢が低い世帯ほど、借家に住む世帯の割合が高いため、家賃地代を含む、住居費の支出が多くなる傾向にあります。特に、30歳未満の世帯では家賃地代の支出が住居費の99.1%を占め、他の年代に比べ最も高くなっています。

なお、世帯主の年齢が高い世帯ほど持家に住む割合が高いため、設備修繕・維持の支出が多くなる傾向にあります。

図 4-1 世帯主の年齢階級別 1世帯当たり年間の住居費（二人以上の世帯）（2022年）

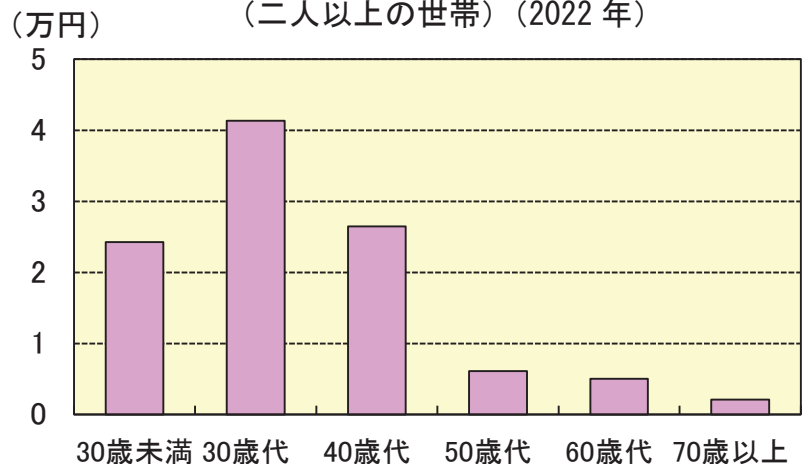


2 30歳代で多い子供用衣料など

世帯主が30歳代の世帯では、幼児のいる割合が高いため、子供用衣料などが他の年代に比べ多くなっています。



図 4-2 世帯主の年齢階級別 1世帯当たり年間の子供用衣料など（二人以上の世帯）（2022年）



子供用衣料など：子供用洋服、子供用シャツ・セーター類、子供用下着類、子供用靴下、子供靴・サンダル

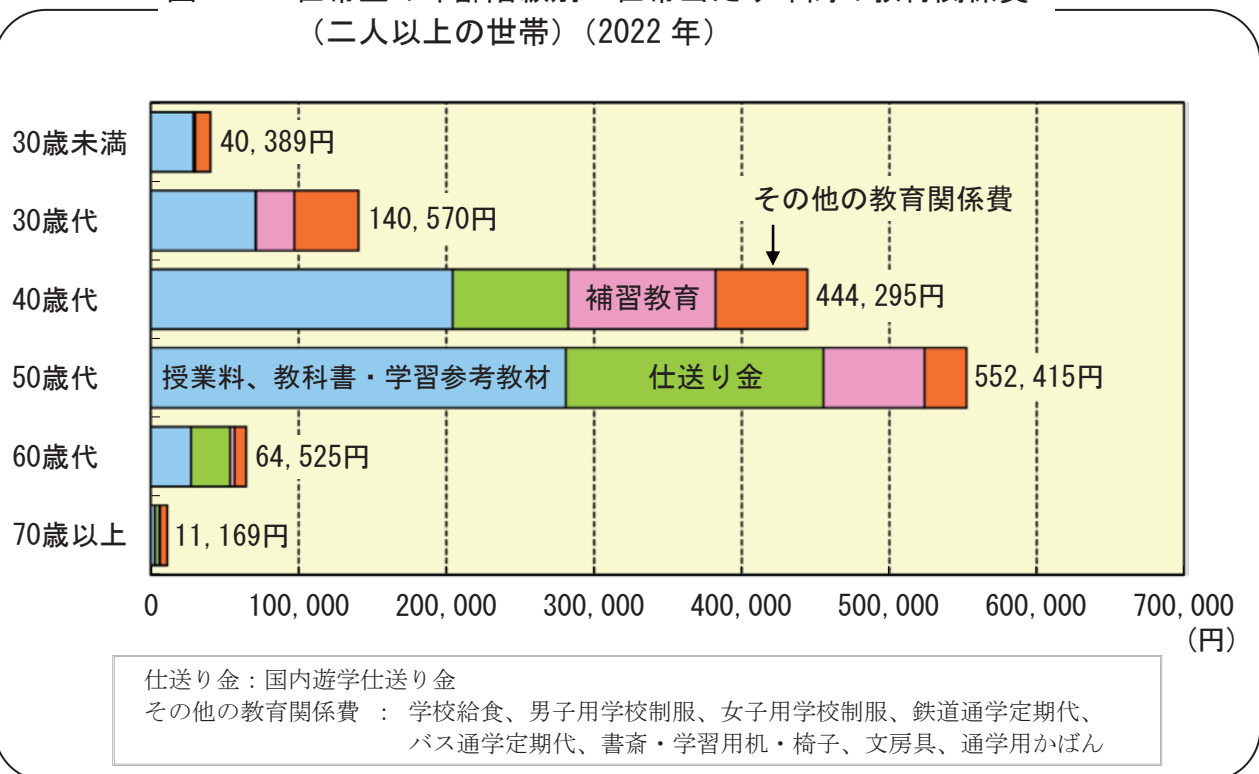
3 40歳代及び50歳代で多い教育関係費

世帯主が40歳代及び50歳代の世帯は、子供が成長し、授業料、学習参考書代、仕送り金、塾の費用などの「教育関係費」の支出が他の年代に比べ多くなっています。

世帯主が40歳代の世帯では、子供が中学校や高校に在学している世帯の割合が高いため、学習塾や家庭教師への月謝などが含まれる「補習教育」のほか、学校給食や文房具などを含む「その他の教育関係費」の支出が他の年代に比べ多くなっています。

世帯主が50歳代の世帯では、子供が親元を離れ、大学に進学する世帯の割合が高いため、子供への「仕送り金」の支出は、40歳代の世帯の約2.2倍になっています。

図 4-3 世帯主の年齢階級別 1世帯当たり年間の教育関係費
(二人以上の世帯) (2022年)



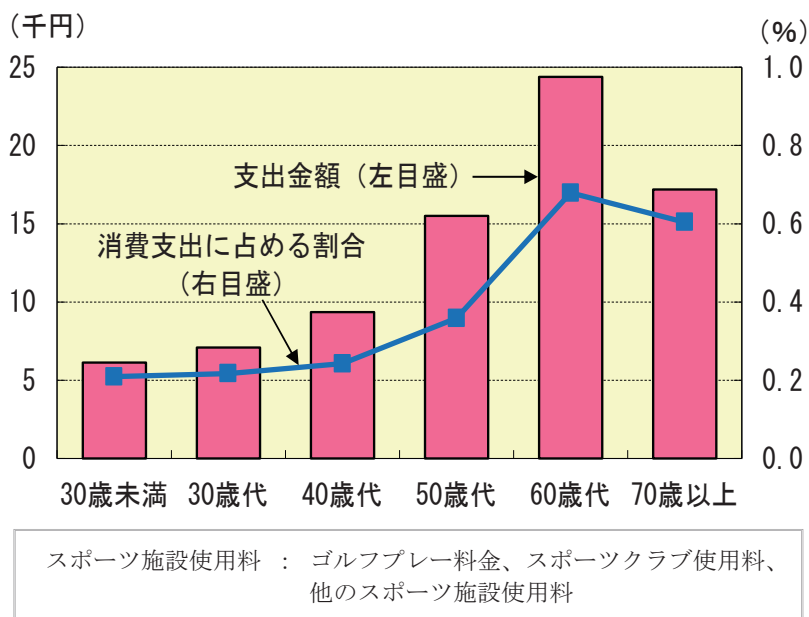
4 60歳代で多いスポーツ施設使用料

フィットネスクラブなどの「スポーツ施設使用料」の支出金額をみると、60歳代の世帯が最も多く、最も少ない30歳未満の世帯の約4.0倍になっています。

なお、消費支出に占める「スポーツ施設使用料」の割合も60歳代の世帯が最も高くなっています。



図 4-4 世帯主の年齢階級別 1世帯当たり年間のスポーツ施設使用料（二人以上の世帯）（2022年）



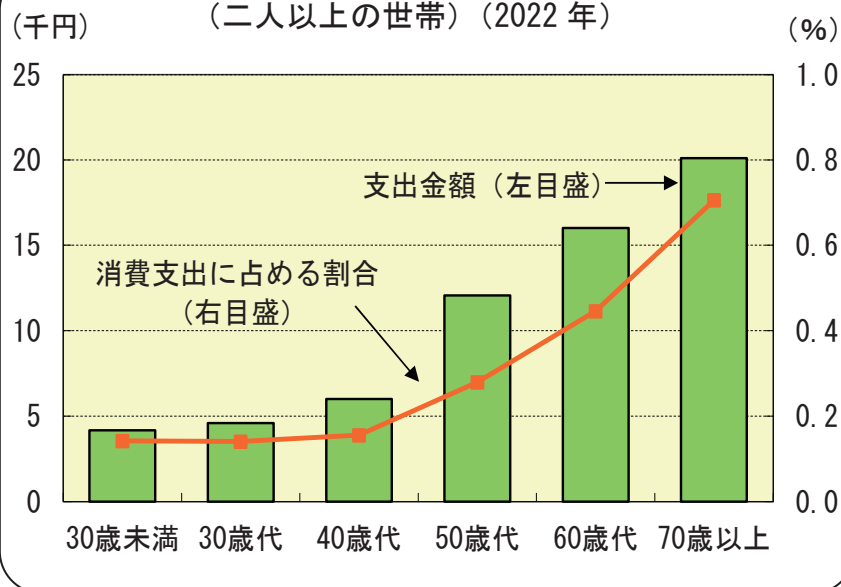
5 70歳以上で多いサプリメントなどの支出

サプリメントなどの「健康保持用摂取品」の支出金額をみると、70歳以上の世帯が最も多く、最も少ない30歳未満の世帯の約4.8倍になっています。

また、消費支出に占める「健康保持用摂取品」の割合も70歳以上の世帯が最も高くなっています。



図 4-5 世帯主の年齢階級別 1世帯当たり年間の健康保持用摂取品の支出金額（二人以上の世帯）（2022年）



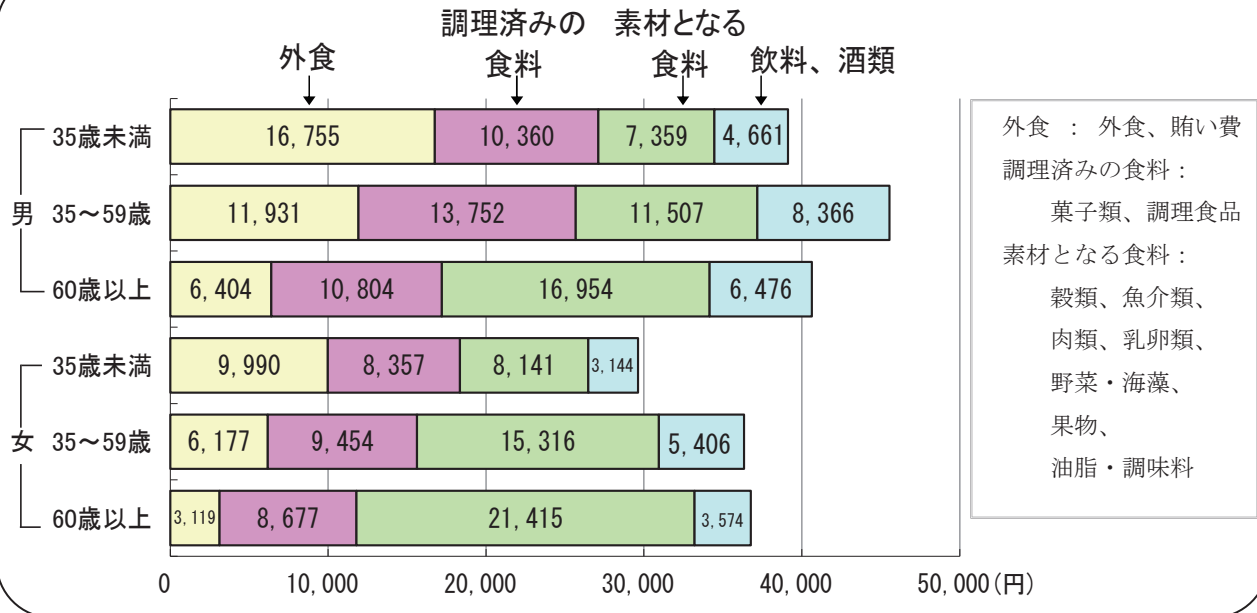
※ 健康保持用摂取品には、青汁、ローヤルゼリー、サプリメントなどが含まれます。

◇単身世帯

35歳未満の男性の外食の支出は1か月当たり約1.7万円

単身世帯について、男女の年齢階級別に食費の内訳をみると、男女ともに、35歳未満で「外食」の支出が最も多くなっており、60歳以上で野菜や魚介類などの「素材となる食料」の支出が最も多くなっています。

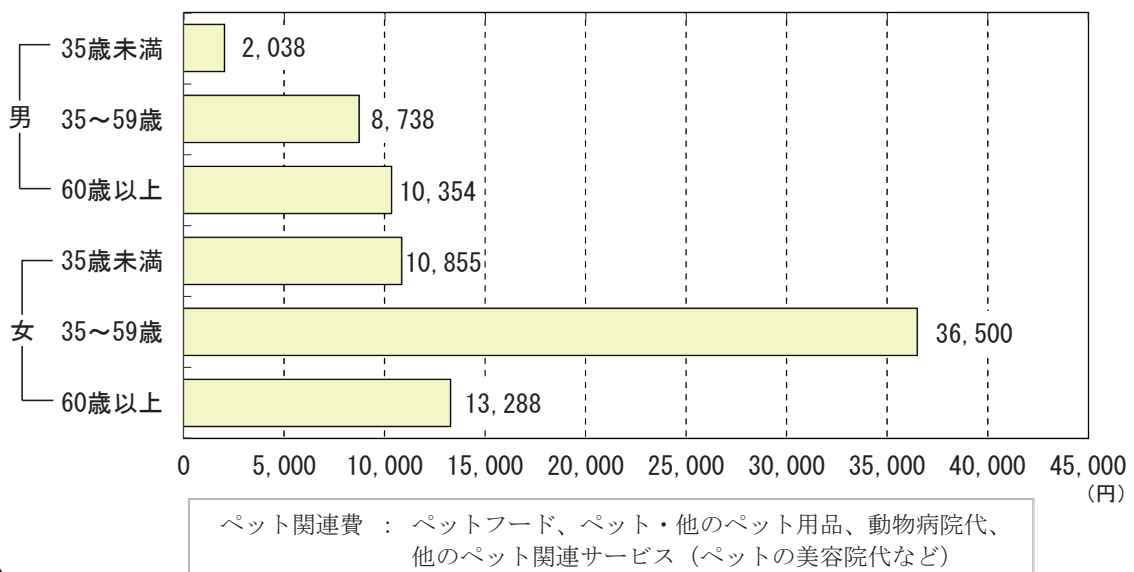
図 4-6 男女、年齢階級別1か月間の食費（単身世帯）（2020～2022年平均）



ペット関連費の支出が多い35～59歳の女性

単身世帯について、男女の年齢階級別にペット関連費をみると、35～59歳の女性の支出が最も多くなっています。

図 4-7 男女、年齢階級別年間のペット関連費（単身世帯）（2020～2022年平均）



第5章 家計資産

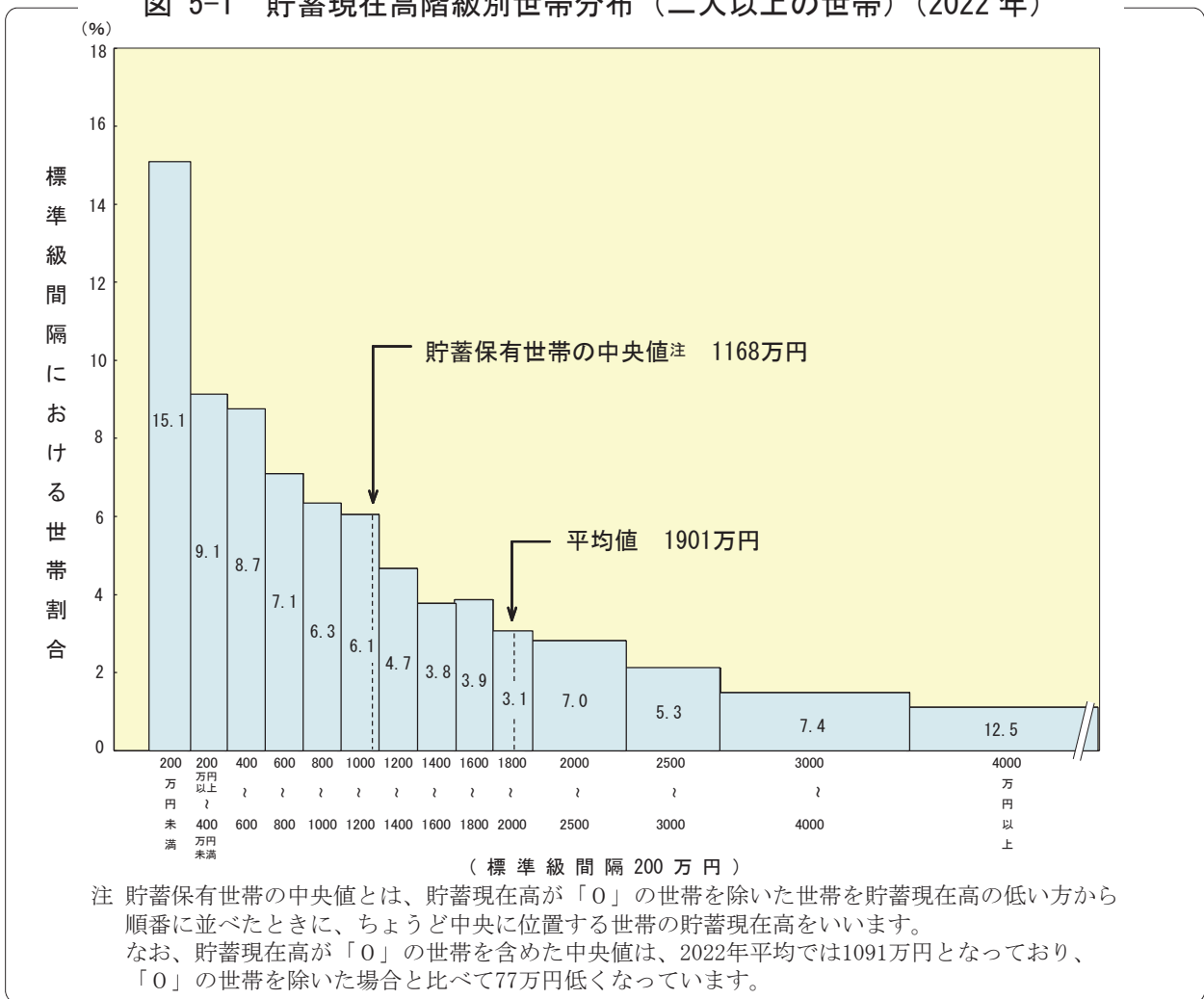
資産の状況は、消費の動向に影響を与えます。ここでは、二人以上の世帯の貯蓄や負債の状況について見てみましょう。

1 貯蓄額別の世帯分布

貯蓄現在高の平均値を下回る世帯は全体の約3分の2

二人以上の世帯の貯蓄現在高は平均では1901万円です。ただし、その平均を下回る世帯が、全体の約3分の2を占めます。これは、貯蓄の多い世帯が、平均値を押し上げているためです。また、金額の少ない世帯から高い世帯へと順に並べたときに、ちょうど中央に当たる世帯の貯蓄現在高は1168万円となっています。

図 5-1 貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯）（2022年）



統計豆知識 ~ 平均値と中央値 ~

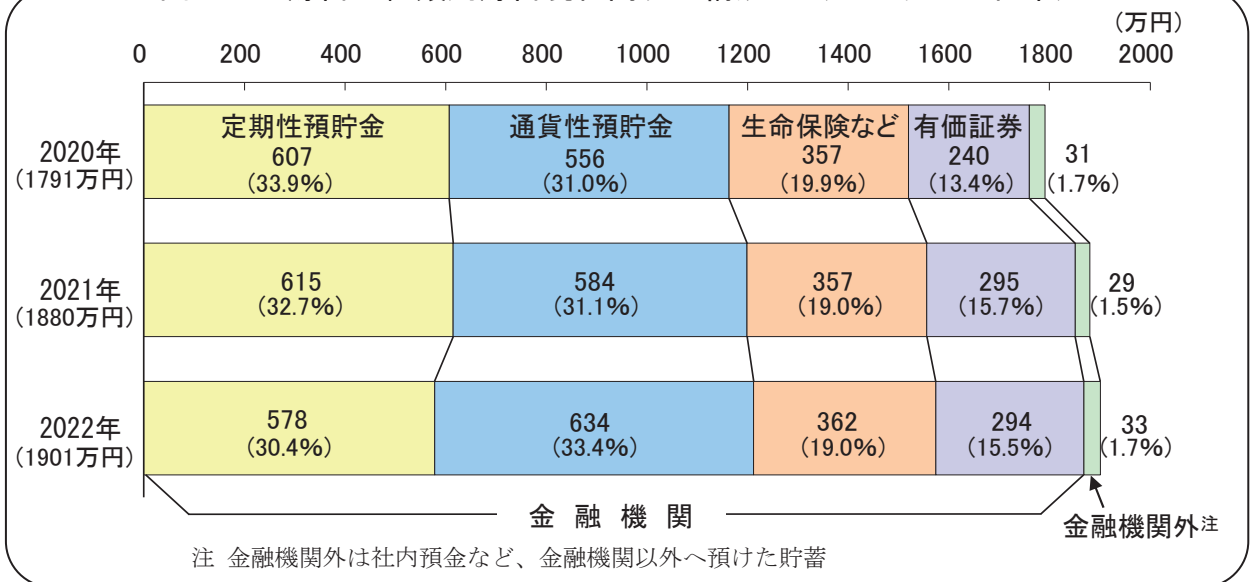
たくさんのデータを集めた統計をわかりやすく表すためによく使われるのが平均値です。富士山のように左右に同じように広がって分布しているときには、平均値が実感に合っています。ところが、上の貯蓄のように、左側から右肩下がりのグラフになるときは、平均は実感と異なることがあります。このような場合には、額の低い方から数えた真ん中の世帯の額（中央値）を確認したり、世帯分布のグラフを確認したりすることが必要です。

2 貯蓄の種類別の状況

通貨性預貯金は14年連続の増加

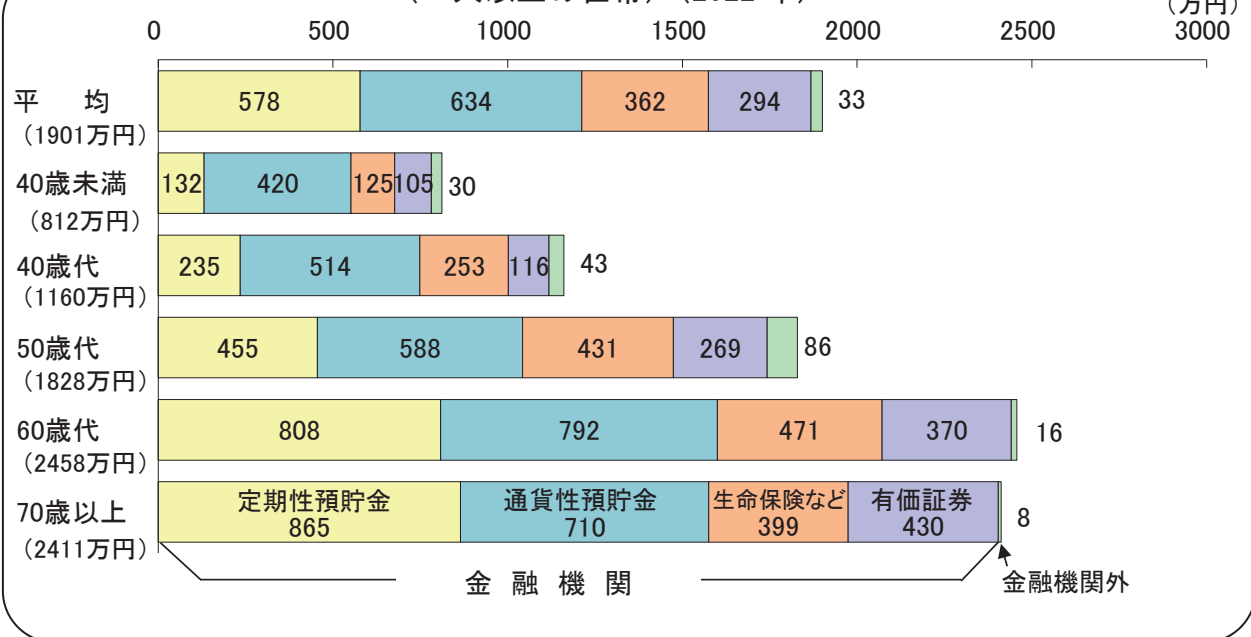
2022年の二人以上の世帯における貯蓄現在高の内訳をみると、銀行の普通預金などの通貨性預貯金が、前年に比べ50万円増加し、14年連続の増加となっています。また、定期性預貯金は、前年に比べ37万円減少し、2年ぶりの減少となっています。

図 5-2 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比（二人以上の世帯）



貯蓄現在高の内訳を世帯主の年齢階級別にみると、60歳代以上では定期性預貯金が最も多く、50歳代以下で通貨性預貯金が最も多くなっています。また、有価証券をみると、70歳以上が最も多くなっています。

図 5-3 世帯主の年齢階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高（二人以上の世帯）（2022年）



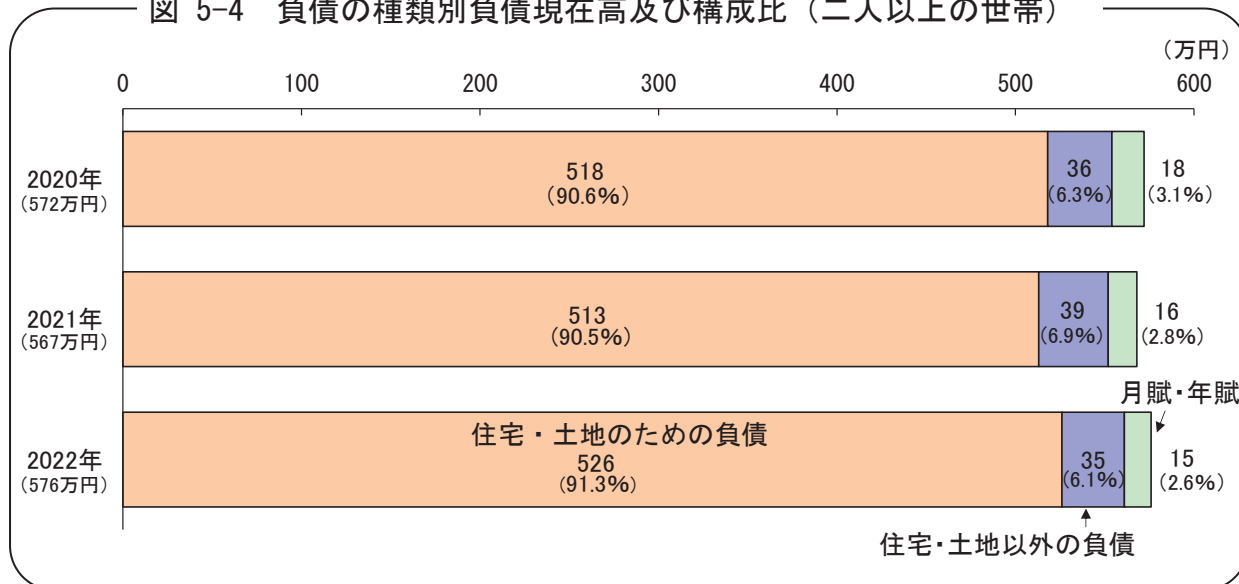
3 負債の種類別の状況

住宅・土地のための負債が負債現在高の約9割を占める

2022年の二人以上の世帯における負債現在高は、前年から9万円増加し、576万円となっています。

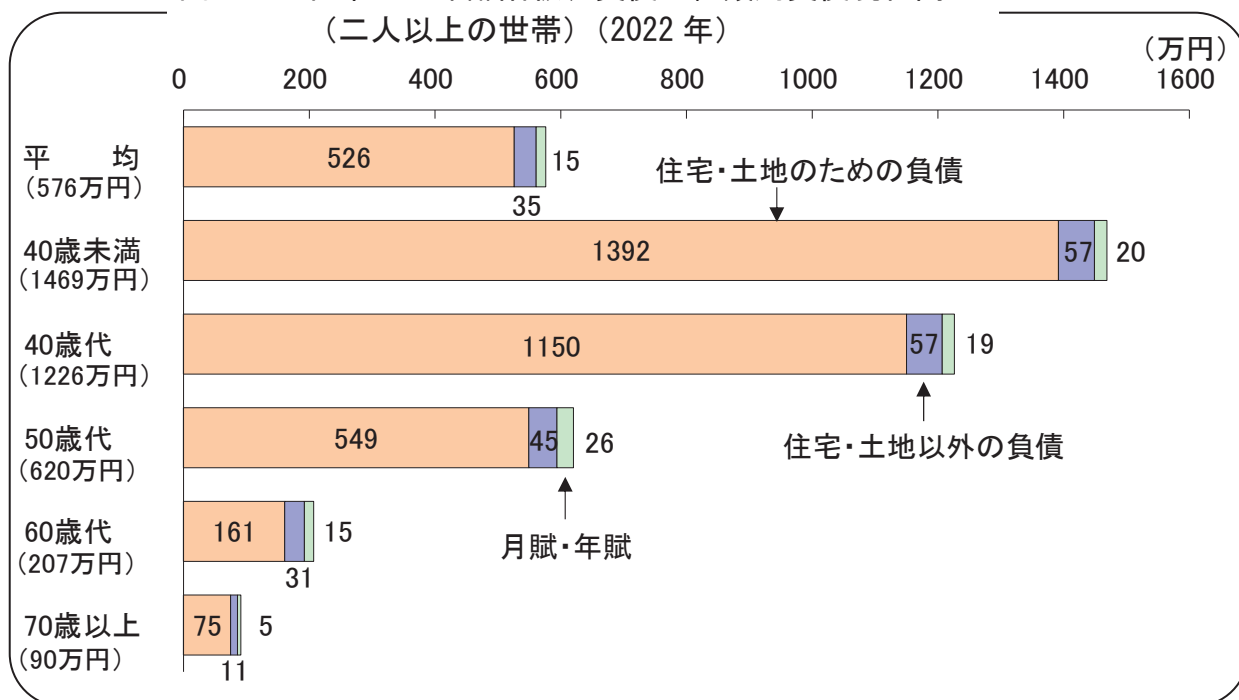
内訳をみると、住宅・土地のための負債が526万円と最も多く、全体の91.3%を占めています。

図 5-4 負債の種類別負債現在高及び構成比（二人以上の世帯）



負債現在高の内訳を世帯主の年齢階級別にみると、住宅・土地のための負債は、40歳未満が最も多く、1392万円となっています。50歳代以降では、住宅・土地のための負債が大きく減少しており、高齢になるにつれ住宅ローンの返済が進んでいることがうかがわれます。

図 5-5 世帯主の年齢階級、負債の種類別負債現在高（二人以上の世帯）（2022年）



〈家計調査（家計収支編）結果の公表予定〉 — 2023年1月分～2024年2月分 —

月平均結果		四半期及び年平均結果	
二人以上の世帯		総世帯・二人以上の世帯・単身世帯	
調査月	公表月日	調査期（年）	公表月日
2023年1月分	2023年3月10日（金）	2023年1～3月期平均 2022年度平均	2023年5月9日（火）
2月分	4月7日（金）		
3月分	5月9日（火）		
4月分	6月6日（火）		
5月分	7月7日（金）	4～6月期平均	8月8日（火）
6月分	8月8日（火）		
7月分	9月5日（火）		
8月分	10月6日（金）		
9月分	11月7日（火）	7～9月期平均	11月7日（火）
10月分	12月8日（金）	10～12月期平均 2023年平均	2024年2月6日（火）
11月分	2024年1月9日（火）		
12月分	2月6日（火）		
2024年1月分	3月8日（金）		
2月分	4月5日（金）		

貯蓄・負債編の四半期平均結果は、四半期の最終月から約4か月後に公表する予定

〈内容に関する問合せ先〉



統計調査部 消費統計課 企画指導係 TEL:03 (5273) 1172 (調査実施に関する問合せ)
審査発表係 TEL:03 (5273) 1174 (調査結果に関する問合せ)
〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

〈調査結果に関する情報〉

家計調査結果については、統計局のホームページを通じて提供しています。




URL <https://www.stat.go.jp/data/kakei/index.html>




家計調査年報は、総務省統計図書館、国立国会図書館及び各支部、都道府県統計主管課並びに都道府県立図書館で閲覧することができます。

〈お知らせ〉


- 政府統計の総合窓口 (e-Stat) 
家計調査を含め、全ての政府統計を収録した統計ポータルサイトです。
<https://www.e-stat.go.jp/>




- 統計学習サイト

児童・生徒向け  <https://www.stat.go.jp/naruhodo/index.html>
先生向け  <https://www.stat.go.jp/teacher/index.html>
社会人向け  <https://www.stat.go.jp/dss/index.html>



- キッズすたっと～探そう統計データ～ 
小・中学生が、教科書にある言葉などから統計データを探することができるサイトです。
<https://dashboard.e-stat.go.jp/kids/>



- 統計ダッシュボード 
主な統計データをグラフなどに加工して一覧表示し、視覚的に分かりやすく提供するサイトです。
<https://dashboard.e-stat.go.jp/>



* 本冊子は、次のURLからダウンロードできます。
⇒ <https://www.stat.go.jp/data/kakei/family6/index.html>

※本冊子に掲載されたデータを引用・転載する場合には、出典（「家計調査結果」（総務省統計局））の表記をお願いします。

2023年6月発行

家計調査へのご理解・ご回答をお願いします

正確な結果を得るためには、調査の対象になられた世帯の皆さまの回答1つ1つが重要となります。

調査員が伺った際は、ご回答をよろしくお願いいたします。